

## 環境教育WGのこれからの活動について（案）

## 1 学校における環境教育の推進

学校における湿原を題材とした環境教育の推進のために、現在の課題を踏まえた展開を検討していく。

## 課題と対応策

1. 提供した情報の活用状況が把握できておらず、事業効果が不明。 継続した情報の収集と提供
2. 実践を促進する後押し（制度、研修、対面でのネットワーク）が必要。 教員研修の実施 等

## 1-1 継続した情報の収集と提供

## (1) 学校における実践事例の追跡取材

2008年度紹介事例の内、いくつかの優良事例を選定し追跡取材及び取りまとめを行う。

新学習指導要領に沿った活動を試行する実践

新学習指導要領が小学校ではH23年度より、中学校ではH24年度より全面实施となり、授業時間の変更に加え、授業内容についても見直しが行われる。

こうした教育制度の変化の機会であることを意識し、WGとして、学校サイドへの情報提供を継続して行う。

同一児童に2年間に渡って学習活動を行う実践事例の収集

湿原学習に深さと広がりをもたせる効果が期待される2年間に渡る学習活動の情報を収集する。

NPOや企業等の多様な主体と連携した実践

学校を軸としたNPOや企業の連携事例を収集し、双方での情報の共有を諮る。

## (2) 新たな実践事例の取材

釧路湿原流域における実践事例を、学校等（市町村教育委員会を含む）、湿原周辺の公開施設、環境教育専門家等より幅広く情報収集を行い、情報の拡充に努める。

## (3) 施設、団体、企業等における学校教育への支援状況の取材

2008年度紹介団体等の内、学校対応実績を有する施設・団体等を中心に、2009年度における具体的な学校対応状況等の追跡取材及び情報発信を行う。

また、支援団体・企業等の新たな情報の収集、発信に努める。

## 1-2 教員研修の実施

学校における環境教育の実践の推進を後押しするための取り組みとして、まずは、再生サイト及び湿原学習プログラム等のフィールドワークを交えた教員研修を実施し、『活きた情報』を教員に届け、参加教員へのフォローアップ等を図ることを目的に、釧路教育研究センターと連携し、湿原の教育的な価値を捉えなおすことをテーマとする教員研修を行う。

講座名：環境教育～自然再生の現場を訪ねて

目 的：釧路湿原に対する新たな視点・気づきの共有

募集対象：釧路管内の小学校、中学校、高等学校教員

講座要綱：添付資料参照（講座参加者募集時に各学校に教育研究センターより案内）

参加者：24名（18校） 内初任者7名

釧路市小学校	14名	9校
釧路市中学校	5名	4校
釧路町小学校	1名	1校
浜中町小学校	1名	1校
標茶町小学校	1名	1校
標茶町小中学校	1名	1校
鶴居村小学校	1名	1校
合計	24名	18校

研修概要：

本研修では、一般的な利用拠点である温根内ビジターセンターで学校対応時に使用されてきたプログラムを体験するとともに、釧路湿原で現在行われている自然再生事業の現場を見学する。これらのフィールドでの活動を中心に、釧路湿原が抱える問題、地域産業との関係、湿原環境の変化や自然再生の考え方、教材としての釧路湿原の捉え方等に触れ、湿原の教育的な価値などについてディスカッションを行う。

[日程] 2009年7月9日（木） 荒天時を除き雨天決行

[時間] 10:00 集合 16:00 解散 集合場所：温根内ビジターセンター（鶴居村温根内）駐車場

[内容]

- ・自然再生事業実施現場の見学（幌呂地区湿原再生事業地を予定）
- ・温根内自然探勝歩道でのフィールドプログラム体験
- ・座学（釧路湿原の変遷、価値）、ディスカッション等

[講師]


- ・新庄 久志 氏（釧路国際ウェットランドセンター主任技術委員）
- ・若山 公一 氏（温根内ビジターセンター 指導員）
- ・大森 享 氏（北海道教育大学釧路校 准教授）

[行程]

- 10:00 温根内ビジターセンター駐車場集合 自然再生サイトへ移動（幌呂地区を予定）
- 10:10 自然再生サイトの見学等（1時間 50分）
- 12:00 温根内ビジターセンターへ移動
- 12:15 昼食
- 13:00 座学：湿原の変遷、価値（30分）
- 13:30 温根内自然探勝歩道でのフィールドプログラムの体験（1時間 30分）
- 15:00 温根内ビジターセンターにてディスカッション、ふりかえり等（1時間）
- 16:00 解散

[主催] 釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 環境教育ワーキンググループ  
釧路教育研究センター

特設 NO. \_\_\_ 環 境 教 育 ~自然再生の現場を訪ねて~

目 的	<p>温根内ビジターセンターでの体験活動や釧路湿原で行われている自然再生事業の現場見学を行うことで、釧路湿原に対する新たな視点、気づきを共有し、湿原の教育的価値などを題材とした環境教育の可能性を考える。</p>								
期 日	平成 21 年 7 月 9 日 (木)								
会 場	温根内ビジターセンター(鶴居村温根内 65-2323) 他								
対 象	小学校・中学校・高等学校(定員 15 名)								
研 修 内 容	<p>見 学 ・自然再生事業実施現場(幌呂地区湿原再生事業地等を予定)</p> <p>体 験 ・温根内自然探勝歩道でのフィールドプログラム</p> <p>座 学 ・釧路湿原の変遷、価値 ・ディスカッション、ふりかえり</p> 								
日 程	9:40 10:00 10:10 12:15 13:00 13:30 15:00 16:00 16:10								
	受 付	開 講 式	見 学	昼 食	座 学	体 験	デ ィ ス カ ッ シ ョ ン	閉 講 式	
講 師	<p>「釧路国際ウェットランドセンター」 主任技術委員 新 庄 久 志 氏</p> <p>「温根内ビジターセンター」 指導員 若 山 公 一 氏</p> <p>「北海道教育大学釧路校」 准教授 大 森 享 氏(予定)</p>								
備 考	<p>釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会 環境教育ワキウグループとの共催</p> <p>持ち物：昼食(近辺に食堂等はありません)、飲み物、長靴、軍手、フィールドワークに適した服装、帽子、虫除け、筆記用具、その他散策に必要と思われる物を各自の判断で持参ください。</p> <p>集合場所：温根内ビジターセンター駐車場(別紙地図参照) 自然再生サイトへの見学移動は貸切バスを利用します。</p> <p>天候不順により中止になる場合があります。その場合、8:00をめぐりに各学校に連絡します。(小雨程度は実施します。雨具をご用意ください。)</p>								

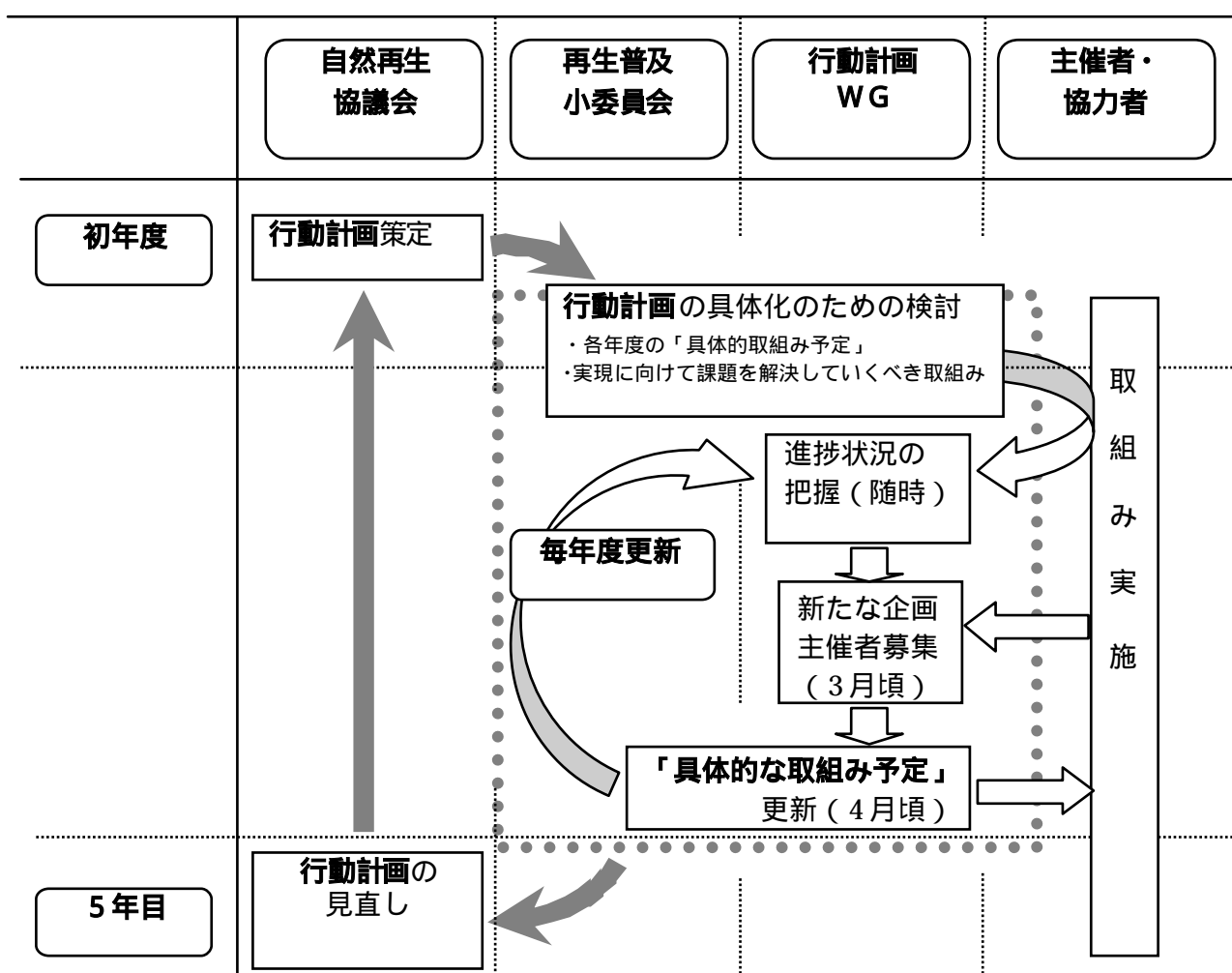
## 2 「再生普及行動計画」見直しについて

### 2-1 背景

釧路湿原自然再生普及行動計画(以下、「普及行動計画」という。)は、釧路湿原の自然再生にかかる環境教育や市民参加を進めていくことを目的として、2005年にスタートした。普及行動計画は、10の項目に分類され、概ね5年間で計画期間として、「できるひと」が「できること」からはじめていくことを旨とし、「ワンダグリンダプロジェクト」の愛称のもとに、毎年度、実際に行われる具体的な取組を事務局が把握し、とりまとめて発信してきた。今年度は、現行計画の終期を迎え、これまでの実施状況をふり返るとともに、関係者の評価等を参照のうえ、次の5年間程度を見越した普及行動計画を再編する。

この検討は行動計画WGが主体となって行っているが、環境教育WGの取組と行動計画WGの取組は深く連携したものであるため、環境教育WGにても内容を検討し、行動計画WGの検討に反映させていく。

< 現行計画の仕組み >



## 2-2 手順

- (1) 普及行動計画 WG、環境教育 WG、再生普及小委員会による振り返り  
4年間の取組状況を10の項目毎に整理し、ワーキンググループ、再生普及小委員会として評価する。
- (2) 関係者ヒアリング  
釧路湿原自然再生協議会の各小委員長、事務局等、関係者を対象にヒアリングを実施し、協議会としての行動計画の評価を把握する。
- (3) 次期計画案の作成  
(1)～(3)を踏まえ、ワーキンググループにより検討し、再生普及小委員会での議論を経て協議会に次期行動計画案を提出し、承認を受ける。

## 2-3 スケジュール

2009年		
4月24日	再生普及行動計画WG	見直しのための検討
6月4日	再生普及小委員会	見直しのための検討、関係者へのヒアリング
6月23日	環境教育WG	見直しのための検討
7月		
8月		素案作成にむけた集中的な検討
9月		
10月	再生普及行動計画WG 環境教育WG(予定)	素案提示・検討
11月	再生普及行動計画WG 再生普及小委員会(予定)	案提示・検討 案提示・検討
12月	自然再生協議会(予定)	提案・承認
2010年1月	新・計画準備	